



第39号

発行 宮城県泉高等学校泉陽会
泉区将監十丁目三九番一
電話〇三三七七四二二
印刷 創文印刷出版株式会社
青葉区春日町八番三四



回顧

同窓会長 桂島 晃

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行し、国のコロナ対策は大きな節目を迎えております。しかし、感染状況は比較的低い水準にあるものの5月以降緩やかな増加傾向が続いており、収束に向かっているとは言えない現状です。このような状況を踏まえ、5月に臨時役員会を開催し、検討した結果、今年度も規模を縮小し臨時総会を開催することにしました。

さて、宮城県泉高等学校は創立50周年を迎え、11月10日には東京エレクトロンホール宮城で記念式典を開催する予定です。記念講演は、仙台89ERS社長、志村雄彦氏に依頼し、泉高生に「文武両道の精神」をお話してほしい旨を伝えております。同窓会、教育振興会、父母教師会、学校が一体となって記念事業を進めて

います。創立50周年記念事業に副実行委員長として関り、母校の歴史を振り返ると、改めて時の流れの速さを実感しています。私たちの高校時代はどのような時代であったか回顧してみました。社会情勢を反映していると言われるTVに着目すると、宮城県出身の中村雅俊さん主演の「われら青春」という番組が放映されており誰もが夢中になって観ていたように思います。放映された昭和49年は、いったいどんな時代で、どんな教育が求められていたのでしょうか。教育史によると、昭和30年代は知育偏重の時代とも言われ「詰め込み式教育」「新幹線授業」と批判されました。そのため「落ちこぼれ」「学校の荒れ」「受験地獄」などの弊害が出てきて、それが教育問題としてクローズアップされまし

た。40年代になり、それらを解決すべく、「人間性を取り戻そう」という「人間教育」が重視されるようになり、中村氏が扮した太陽が、落ちこぼれの生徒一人一人の心に寄り添い、人間としての輝きを見出し、その良さを引き出していくストーリーは、その時代に必要なのが反映されていたのかもしれない。私たちの高校時代を振り返れば、当時の先生方は生徒を一人の大人として扱い接してくれました。特に一人一人の個性を尊重し、生徒が主体的に取り組むことを大事にしてくれたように思います。そのため生徒一人一人が生きていく輝きを放っていたように思います。どんなに社会が変化しようとも、教育には時代を超えて変わらない価値のあるもの「不易」の部分があり

ます。「豊かな人間性」「正義感や公正さを重んじる心」「自らを律しつつ他人と協調し他人を思いやる心」「人間を尊重する心算」こうしたものを生徒に培うことは、どの時代でも大切にされなければならぬと考えます。良き人柄の周囲には常に良き人々が集まると言われます。まさに泉高校は良き校風のもと、優れた人材が集まっていると言えます。50周年記念事業等を機に、泉高校に関わる人々が一堂に会し、母校発展のために様々な意見交換がなされることを期待しています。母校発展のためには、泉高校の歴史を、点としてではなく線としてとらえている、俯瞰してみることで、同窓生、保護者や地域の方々、教育振興会の役員の皆様の見解は貴重であると考えています。

実施します。今春の卒業生を含め、この学び舎を巣立った同窓生は1万6200名を数えます。さて、コロナ禍も4年目、5月の連休明けには、5類感染症に移行するという大きな節目を迎えました。常時換気・三密回避・手指衛生などの感染対策は継続されますが、制限や自粛の多くがなくなり、マスクの着用も個人の判断に委ねられるなど、4年ぶりの通常活動が戻ってきました。5月の泉三校定期戦も、選手団と一般応援生徒が見守る中、三校の応援団とチアの面々が一堂に会し、演技やエールを交換したシエルコムでの開会式は見応えがありましたし、夕方の閉会式後、三校の生徒が応援団の太鼓に合わせ踊り回るストームにも、定期戦を成功させた喜びが溢れていました。7月の泉高祭も、感染対策をしながら一般公開され、展示・ステージ・模擬店は多くの人で溢れました。泉高総体の詳細は活動報告に譲りますが、バスケ男女共に県ベスト16に入るなど、団体競技の活躍も見事でした。また、陸上競技部は6

同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。今年、本校は創立50周年を迎え、11月に記念式典を



校長 菅原 賢一

祝50周年・積極挑戦再開

種目で東北大会に出場し、男子5000m競歩でインターハイ出場となりました。令和4年度の卒業生271名の進路実績を振り返ってみますと、国公立大学79名、私立大学延べ577名、短大16名、看護専門学校13名、一般専門学校16名、公務員1名などで、コロナ禍の影響が続き、県外の国立大より、仙台市内の私立大という安全志向が見られました。学級減2年目の令和5年度は、三年生272名、二年生236名、一年生242名の総勢750名でスタートしました。本校では、期待する生徒像として「積極挑戦し未来を切り開く生徒×多様な経験から主体性を育む」を掲げております。多くの校外イベントが復活する今年、校内の活動に留まらず、積極的に校外に出、多くの方々との関わりから多様な経験を積み、経験から考え、主体的に社会貢献する態度を育てて参りたいと考えております。今年も本校では、教育活動の更なる発展を目指し、生徒・職員一丸となり精一杯努力を重ねて参ります。本校生が大いに活躍を遂げるためにも、変わらぬ御支援と御協力をお願い申し上げます。同窓生の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

学びと実付きの原点

(普通科1回生/1976年卒) 塩田 享



1回生ゴルフコンペにて(令和5年4月30日 後列右から1番目が塩田さん)

開校50周年にあたり、関係者の皆さまに心からお祝い申し上げます。誠にありがとうございます。

特に、半世紀にわたりご尽力されてきた歴代の校長、教頭、教職員の皆さまや泉陽会役員に改めて敬意を表します。

まずは同級生との集いからご紹介します。三年以上にわたり開催を控えておりました「1回生ゴルフコンペ」を再開することができました。今回は、「母校50周年記念」「六十五歳記念」「〇〇君復活祝い」「△△君の新たなスタート祝い」等、一人ひとりの思いが募った集いとなりました。参加者はわずか七人でしたが、みんながそれぞれのライフイベントを迎え、また何らかの事情も乗り越えた仲間達です。呼び掛けた私同様、全員が再会の喜びを共有できたイベントでした。当日の羨望の的は、昨年はいくつかのゴルフ場でシニアチャンピオンを獲得したTK君(写真中央)でした。僣越ではありますが、彼の素晴らしいゴルフメソッドと、何よりも普段の努力と体調管理に敬意を払い、一層の活躍に期待したいと思います。

そして、同好の仲間たちとはこれからもゴルフやテニスを通じて交流を続けたいと願っております。

さて、私は大学を卒業後、仙台上に本社を置く医薬品卸企業に就職し、主に医療機関や保険薬局への営業活動(情報提供や医薬品流通)に従事しました。入社当時は社会人としての目的や目標も薄く戸惑いの多い日々でしたが、東北各地で勤務する間にその地で多くの先輩社員と出会い、厳しくも思い遣りのある指導を受け心構えや基礎造りができました。また、自らの地域に関わることで、社会人・企業人として成長できたと実感しております。

二〇一四年からは同企業グループに加わった調剤薬局企業の代表取締役として、経営管理に携わる立場となりました。突然に舞

い降りてきた社長業ではありましたが、社員と同僚役員との交流やつながりを深めながら日々の学びや気付きを大切に取組んで参りました。おりしも社会的変化や薬局業界の大変革と重なりましたが、常に「人財育成」を経営方針に掲げ、社会人の基礎から専門的教育まで一層の充実を図って参りました。

取り組みが奏功し、優秀な新入社員を受け入れも可能となりました。昨年から後進に会社の業務を譲り、会長職として引き続き経営に関わっております。

この企業グループには母校である泉高校出身の後輩たちも多数に籍をしておられます。薬局企業にも薬剤師や管理職社員が数名いて、地域医療に貢献しております。母校を語りあう機会はほとんどありませんが、彼らの活躍

を大変誇らしく感じております。私は企業人からの卒業を目前に控え、充実した四十三年間が走馬灯のようによみがえり、懐かしさも感慨深い日々を送っております。しばらくの間は関係会社の社員や後輩たちへのアドバイザーとして過ごして参りたいと考えております。

顧みると、学生時代はほんの僅かな期間でしたが、多くの友人たちとの交流から沢山の刺激を受け、気付きを得る事ができました。また、価値観の異なる友人と過ごす中で互いを認め合う事も学びました。自由な校風の下で多くの学びと気付きを感じております。在校生のみならず多くの友人と交流を持ち、一日一日を大切に過ごして悔いのない高校生活を送ってください。

仲間を大切に

(普通科13回生/1988年卒) 伊藤 美佳(旧姓佐藤)

この度は、泉高校創立50周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

今回、高校時代にお世話になった部活の先輩である及川先生から、医療系へ進学を希望する在校生も多くなってきていると連絡をいただき、私でいいのか悩みました。が、寄稿をさせていただきます。

私は現在、国家公務員共済組合連合会東北公済病院の手術室看護師長を務めております。私がこの仕事を目指したきっかけは、婦人科の病気で入院した隣のおばさんを母親と一緒にお見舞いに行った時に、病室の廊下から新生児室で働くスタッフを

産に携わらせてくださった産婦さん達から励まされ、乗り越えることが出来たと思っております。

平成4年に入職してから30数年はほとんどを助産師として勤務し、たくさんの母子に関わる仕事をしてきました。妊婦さんと一緒に頑張る無事に産産を終えた時は、言葉にないほどの充実感と安堵感があります。

出産だけでなく、母乳育児支援を通じて継続して支援ができることも助産師の魅力の1つです。管理職になり、助産師として第一線で働くことが出来なくなりましたが、今は患者さんが安心して安全に手術を受けられるように環境を整えることが自分の使命だと割り切って、たくさんの方の医療スタッフと連携して働いています。

私の高校生活は女子クラスからスタートしました。学年8クラス中、2クラスが女子クラスで、せっかく男女共学の学校に進学したのに女子クラスかと思ったこともありましたが、この女子クラスが楽しくて楽しくて、3年間ずっと女子クラスでいいと思っただけでした。分散会で仮面舞踏会を踊ったことは昨日のことのように覚えています。(笑)

部活は女子バレー部でした。練習は厳しくつらいこともたくさんありましたが、先輩や後輩、同級生に支えられ、励まされ、合間に頑張ることが出来ました。部活の記憶は今でも鮮明に思い出され、夏の合宿で畳を背負って教室に運び、くたくたになってみんなで寝たことも今となってはいい思い出です。

土日の練習の送迎を父がいつもしてくれていたのですが、その車中で父から言われた忘れられない言葉があります。「部活で一緒に頑張った仲間は一生の

友達になるから」。高校を卒業してからそれぞれ違う道に進みますが、結婚、出産、子育てをこぼしたり励まし合ったりしてきました。自分が助産師として働いているからと、私に赤ちゃんを取り上げて欲しくて病院を選んでくれた仲間もいます。集まると気兼ねなく何でも話し合える、そんな仲間に出会えたことは本当に私の宝物です。父の言っていたことはこういうことだったのかと、この年になって感じる日々を過ごしております。

最後になりますが、在校生の皆さまに一言。まずは、仲間と高校生活を精一杯楽しんでください。そして将来進みたい方向が決まったら、いろいろな情報を得ながら目標達成に向けて1つ1つ前に進んでほしいと思います。

未筆ながら、泉高校の一層のご発展と皆様方の活躍を祈念致しまして、創立50周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

産に携わらせてくださった産婦さん達から励まされ、乗り越えることが出来たと思っております。

平成4年に入職してから30数年はほとんどを助産師として勤務し、たくさんの母子に関わる仕事をしてきました。妊婦さんと一緒に頑張る無事に産産を終えた時は、言葉にないほどの充実感と安堵感があります。

出産だけでなく、母乳育児支援を通じて継続して支援ができることも助産師の魅力の1つです。管理職になり、助産師として第一線で働くことが出来なくなりましたが、今は患者さんが安心して安全に手術を受けられるように環境を整えることが自分の使命だと割り切って、たくさんの方の医療スタッフと連携して働いています。

私の高校生活は女子クラスからスタートしました。学年8クラス中、2クラスが女子クラスで、せっかく男女共学の学校に進学したのに女子クラスかと思ったこともありましたが、この女子クラスが楽しくて楽しくて、3年間ずっと女子クラスでいいと思っただけでした。分散会で仮面舞踏会を踊ったことは昨日のことのように覚えています。(笑)

部活は女子バレー部でした。練習は厳しくつらいこともたくさんありましたが、先輩や後輩、同級生に支えられ、励まされ、合間に頑張ることが出来ました。部活の記憶は今でも鮮明に思い出され、夏の合宿で畳を背負って教室に運び、くたくたになってみんなで寝たことも今となってはいい思い出です。

土日の練習の送迎を父がいつもしてくれていたのですが、その車中で父から言われた忘れられない言葉があります。「部活で一緒に頑張った仲間は一生の

友達になるから」。高校を卒業してからそれぞれ違う道に進みますが、結婚、出産、子育てをこぼしたり励まし合ったりしてきました。自分が助産師として働いているからと、私に赤ちゃんを取り上げて欲しくて病院を選んでくれた仲間もいます。集まると気兼ねなく何でも話し合える、そんな仲間に出会えたことは本当に私の宝物です。父の言っていたことはこういうことだったのかと、この年になって感じる日々を過ごしております。

最後になりますが、在校生の皆さまに一言。まずは、仲間と高校生活を精一杯楽しんでください。そして将来進みたい方向が決まったら、いろいろな情報を得ながら目標達成に向けて1つ1つ前に進んでほしいと思います。

未筆ながら、泉高校の一層のご発展と皆様方の活躍を祈念致しまして、創立50周年のお祝いの言葉とさせていただきます。



東北公済病院の同僚たちと(後列中央が伊藤さん)

令和5年度 泉高校泉陽会 総会資料

1 令和4年度 行事報告

令和4年4月8日(金)	入学式	令和5年2月28日(火)	同窓会入会式
5月14日(土)	本部役員会	3月1日(水)	卒業式
7月9日(土)	役員会・臨時総会		
8月13日(土)	総会(ホテル白萩)中止		
8月下旬	泉陽会会報第38号発行		

2 令和4年度 宮城県泉高等学校同窓会 収支決算書

【一般会計】

収支対照

収 入	支 出	残 額	摘 要
1,475,726	969,152	506,574	

収入の部

科 目	予算額	決算額	比 較		備 考
			増	減	
1 会費	946,800	945,300		1,500	1,200円×789名, 転学者返金等
2 繰越金	530,417	530,417			前年度からの繰越金
3 雑収入	3	9	6		預金利息
合 計	1,477,220	1,475,726		1,494	

支出の部

科 目	予算額	決算額	比 較		備 考
			増	減	
1 運営費	250,000	64,864		185,136	
(会議費)	120,000	8,960		111,040	会議用お茶菓子代
(事務費)	35,000	0		35,000	
(渉外費)	25,000	0		25,000	
(通信費)	20,000	17,404		2,596	役員会・同窓会報等郵送料
(印刷費)	50,000	38,500		11,500	泉陽会会報印刷代
2 学校行事補助費	300,000	244,288		55,712	
(卒業祝い)	300,000	244,288		55,712	卒業記念品代
3 生徒会補助費	200,000	60,000		140,000	
(生徒会補助)	200,000	60,000		140,000	弓道部(遠征費補助・全国大会)
4 積立準備金	600,000	600,000		0	50周年記念事業会計へ
5 予備費	127,220	0		127,220	
合 計	1,477,220	969,152		508,068	

残額 506,574円 …次年度へ繰越し

【積立金会計】

既積立額	既積立利息	令和4年度積立額	計	備 考
11,709,873	166	0	11,710,039	定期預金全額解約し、50周年記念事業会計へ

監査の結果、帳簿並びに収入・支出調書等いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和5年7月1日

監事 早坂 信也
 監事 佐藤 孝雄
 監事 下山 幸希典



3 令和5年度 行事計画 (案)

令和5年4月10日(月)	入学式	令和6年2月29日(木)	同窓会入会式
5月26日(金)	本部役員会	3月1日(金)	卒業式
7月1日(土)	役員会・総会		
8月中旬	泉陽会会報第39号発行		
11月10日(金)	創立50周年記念式典・記念講演・祝賀会		

4 令和5年度 宮城県泉高等学校同窓会 予算書 (案)

【一般会計】

収入の部

科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		備 考
			増	減	
1 会費	898,800	946,800		48,000	1,200円×749名
2 繰越金	506,574	530,417		23,843	前年度繰越
3 雑収入	6	3	3		利息
合 計	1,405,380	1,477,220		71,840	

支出の部

科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		備 考
			増	減	
1 運営費	250,000	250,000			
(会議費)	120,000	120,000			総会・役員会費用
(事務費)	35,000	35,000			総会広告料他
(渉外費)	25,000	25,000			慶弔費
(通信費)	20,000	20,000			切手・はがき代
(印刷費)	50,000	50,000			会報印刷代
2 学校行事補助費	300,000	300,000			
(卒業祝い)	300,000	300,000			卒業記念品代
3 生徒会補助費	200,000	200,000			
(生徒会補助)	200,000	200,000			遠征費補助(全国大会)
4 積立準備金	600,000	600,000			記念事業等積立金
5 予備費	55,380	127,220		71,840	
合 計	1,405,380	1,477,220		71,840	

5 令和5・6年度役員 ※ () は卒業回

[会 長]	桂島 晃 (1)			
[副会長]	千葉 仁 (1)	菅澤 勇 (1)	吉田 恵幸 (7)	
[幹 事]	黒澤 政弘 (2)	猪股 純子 (6)	藤井美生子 (6)	佐藤 孝雄 (7)
	菊地 弘志 (13)	鈴木 由美 (13)	大久保博信 (16)	新山 茂美 (36)
	桂島 仁 (41)	長崎 渉 (41)		
[監 事]	早坂 信也 (3)	下山幸希恵 (13)	藤澤 誠 (14)	
[会 計]	庄司 幸男 (1)	馬場みさ乃 (36)	高橋 淳子 (事務室長)	
[参 与]	菅原 賢一 (校長)	豊島さと子 (教頭)	関口 聡 (教頭)	

次年度 (令和6年度) 総会および親睦会の御案内

- [日 時] 令和6年8月10日(土) 総会・懇親会 午後4時～7時まで (総会1時間、親睦会2時間)
 [会 場] ホテル 白萩 仙台市青葉区錦町2-2-19 TEL 022-265-3411
 [世話役] 普通科7回生(昭和57年3月卒)、17回生(平成4年3月卒)、27回生(平成14年3月卒)、
 37回生(平成24年3月卒)、47回生(令和3年3月卒)、英語科5回生(平成14年3月卒)、
 15回生(平成24年3月卒)、25回生(令和3年3月卒)が幹事学年に当たります。
 お近くの方をお誘いの上、御参加下さい。多くの方の出席をお待ちしております。

※詳しくは、来年7月にご案内する予定です。何か不明な点がありましたら事務局までご連絡ください。

ウクライナ支援ボランティアに参加して 自分ごとで考える

(普通科45回生/2019年卒) 後藤 一磨

2022年2月にロシアによるウクライナ侵攻が始まった戦争。どうせすぐに終わるだろうと楽観的にニュースを受けとめていた自分がいました。いつも通りSNSを見ていたら、ウクライナの街に転がる遺体が目に飛び込んできました。その中には自分よりも若い人もいました。でも、自分は何もできません。ただ呆然とその現実を画面越しに見ているだけでした。

そんな中、日本財団ボランティアセンターがウクライナへの学生派遣事業を発表したことを知りました。自分は海外に行ったこともなく英語も堪能じゃない、パスポートすら持っていませんでした。15名の募集人数に対して100名以上の応募があり、自分が通るかどうかも分からないのに、気づけばパスポートを申し込み応募し、そして採用されたのです。

このボランティアの主な活動場所はポーランドとウクライナの国境付近の町、プシェミシルにある避難民一時滞在施設でした。そこでは、施設の清掃、飲食物の提供や物品の管理、子供たちとの交流など幅広い活動を行いました。

訪れる前の私は、どのような雰囲気のかも想像できず、異国の日本人がなじめるのだろうか、自分にできることは何だろうかと思いを巡らせていました。しかし、施設の中は、そこまで暗い雰囲気はなく、夜遅くても子供の笑い声が聞こえてくる場所でした。日本人を面白く思うから子供たちが駆け寄り寄ってきてくれて、遊ぼう！と言わんばかりに遊び場に連れて行ってくれました。夜12時になっても眠らない子供たちに翻弄されながらも、私にある思いが巡りました。この子供は今後、言語

も通じない国へ避難しなければならぬ。次に母国に帰った時には自分の家が無くなってしまったかもしれない。あの時子供たちの笑顔の裏に隠されている感情はどのようなものだったのだろうか、活動が終わった今でも考え続けています。

施設でひとりの女子高校生に出会いました。彼女は英語を話す事が出来たので、彼女の考えを聞くことをダイレクトに知る事が出来ました。彼女と交流を深めていく上で、彼女はこの戦争に対してこのようなことを言っていました。「戦争は忘れ去られていってしまう」「ウクライナ戦争はメディアの金蔓でしか無くなってしまおう」と。私は言葉が出ませんでした。彼女にどのような言葉をかけるのが正解なのか、自分にできることは何だろうかと考えているうちに、あつという間に活動が終わりました。

帰国後の私は、周りから「すごいね」「お疲れ様」と言葉をいただけが多かったのですが、その反面、自分の心には言葉に出来ないモヤモヤとした何かがありました。活動中に自分にできたことは他に何かなかったのだろうか、結果として自分は何もでき

ていないのではないだろうか。しかし、今は、あのボランティア活動を経験した私たちだからこそできる事があると考えています。私たちが普通に生活している今でも、ウクライナでは命が奪われてしまう「戦争」というできごとが繰り返り広げられています。その現実を忘れないうちに、自分が活動して経験したことをこのように伝えていきます。この原稿を読んでくれる方々も、ウクライナという遠い場所でも「戦争」が起きているという現実を思いを馳せてください。戦争の事実を風化させないために、私はこれからも経験を伝えていきます。

泉高生の皆さんへ。志望する大学へ向かって必死に勉強をしたり、部活に励んでいることだろうと思います。仮に自分の目標が達成できなかったとしても、自分の道を変えていくのは自分自身です。結果も大事ですが、それ以前に自分が頑張ってきた過程を褒めてあげてください。その経験はきっとあなたの人生を豊かにしてくれると思います。皆さんの高校生活がより豊かなものになるように祈っています。

避難民救いたい

東北学院大後藤さん

進むべき道明確に

仙台出身の後藤さんは、ルワンダの人道支援担当として、



後藤一磨さん

参加するボランティアのNGOのボランティア活動が、海外で助けが必要なののために働くという、将来進むべき道が

明確になったという。ウクライナとの国境に近いポーランド南東部のプシェミシルで、掃除やシートの交換などを任された。子どもたちの心のケアにも努め、スマートフォンで翻訳機能を使って一緒にボランティアやお絵描きをした。子どもが無邪気に笑うと、周囲の大人たちの硬い表情が和らいだ。

「自毛が破壊されているかもしれない現実を知らずには楽しんでいた。子どもの未来を奪う戦争は残酷なものではない」と痛感した。親しくなったウクライナ人女性(17)と交流サイト(SNS)で帰国後も連絡を取り合っ。時々、日本の政治状況や社会問題について聞かれ、返事に窮する自分の勉強不足を痛感する。女性から贈られたプレスレットを今も大事に身に着ける。「現地でも経験し、決心したことを忘れないようにするために」という。国際協力を学べる東京の大学への進学を目指す。

▲河北新報社提供 2022年7月21日



ポーランド・プシェミシルにて

創立50周年祝賀会のご案内

- 日時：令和5年11月10日(金)18時より(受付17時30分～)
- 場所：江陽グランドホテル
(仙台市青葉区本町二丁目3の1 [TEL] 022-267-5111)
- 申し込み：出欠の有無については、**9月15日(金)**までをお願いします。
 - 下記のメールアドレスに連絡。
izumihigh-senyoukai@od.myswan.ed.jp
 - URL (<https://forms.office.com/r/Q8gPx2sN>)
又はQRコードから接続して申し込みフォームを入力。
- 会費：8,000円
※出席される方は、会費8,000円を指定の口座へ**9月15日(金)**まで振り込んでください。
誠に恐れ入りますが、振り込み手数料は各自の負担でお願い致します。
※祝賀会の申し込みを完了した方にメールで**振り込み先の口座**を送ります。期日までに指定の口座に振り込むようお願い致します。
- 問い合わせ先：宮城県泉高等学校 創立50周年実行委員会 事務局 豊島教頭



◎会場の関係で制限人数に達しましたら、締め切りを待たずに受付終了させていただきます。

同窓生紹介

桂島 晃

50年の節目に当たり、同窓会活動に貢献していただいた同窓会副会長の金森雄雄さんをご紹介します。彼は、現在、仙台市内に保育所「認定こども園、特別養護老人ホーム」等、十数か所の施設の理事長(経営者)を務めています。彼は表彰の類は一切お断りしているとのことであるので、この紙面を借りて彼の功績を讃えたいと思います。彼との出会いは高校時代の硬式野球部でした。私が3年生の時に新入生として彼が入部してきて、彼は部活動と勉強との両立に悩み一度退部します。数か

月後、「もう一度野球がしたい」と復帰しました。その時に私たちが卒業後、彼は同窓会の仕事を手伝うようには初めのベスト8に進出し正捕手として活躍しました。同窓会活動においては、総会への参加者をどう増やすかが毎年の課題でありました。彼は自分の職場で働く同窓生である職員を十数名参加させてくれたり、仕事関係や同級生にも声掛けし参加を促してくださいました。総会が40数年、継続実施できたのも彼の尽力によるものが大きいと考えています。心より感謝を申し上げます。

Table with 2 columns: 国立大学合格者数 (令和4年度卒業生、以下同様) and 現役. Lists various universities and their counts.

Table with 2 columns: 公立大学合格者数 and 現役. Lists various public universities and their counts.

Table with 2 columns: 私立大学合格者数 and 現役. Lists various private universities and their counts.

Table with 2 columns: 現役 and 人数. Lists various universities and their counts.

Table with 2 columns: 現役 and 人数. Lists various universities and their counts.

Table with 2 columns: 短大名 and 合計. Lists short-term universities and their total counts.

Table with 2 columns: 校名 and 合計. Lists nursing schools and their total counts.

Table with 2 columns: 校名 and 合計. Lists general nursing schools and their total counts.

Table with 2 columns: 職就・その他 and 合計. Lists other job categories and their total counts.

2023年度 大学入試を振り返って 進路指導部

新型コロナウイルス感染症の第8波が続くなかでの入試となった2023年度は、同時に、大学入学共通テストが施行されて3年目の年でもありました。

そのような過酷な状況にもかかわらず、本校の卒業生諸君は、担任の先生方と面談を重ね、また、国立大学の二次試験に向けて懸命に努力を重ねた結果、大いに健闘しました。

国立大学は、東北大3名をはじめとして79名が合格を果たしました。私立大学は、明治大学・中央大学・法政大学・立教大学といった難関大学をはじめとし、県内外合わせて577名の現役合格者が出ました。

このように困難な状況を克服して見事合格を勝ち取った卒業生諸君は、大変立派だと思います。後に続く在校生諸君もこの結果を励みとして、より一層努力し、希望の進路を実現してほしいと思います。

部活動報告 高校総体 おもな結果

Large section containing detailed sports results for various events like 男子バスケットボール, 女子バレーボール, etc., including names of participants and their performance.

事務局より

今年度の事務局は、内海渉次・及川美佳(普通科11回生)・嘉藤敏之(普通科13回生)が担当します。よろしくお願いたします。

泉陽会事務局 泉高校総務部 〒981-3132 仙台市泉区将監10丁目39番1号 TEL 022-372-4111 FAX 022-372-4128

同窓会会報の記念すべき第1号は昭和61年2月28日に発行され、毎年8月に定期発行を続けています。会報を通じて各界で活躍する同窓生の情報を共有するとともに母校、現役生の様子を知り、泉高・泉陽会への帰属意識が深まることを心から願い発刊しています。